



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
 コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画部長 (氏名) 大谷 郁夫
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 075-682-1028

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	43,362	1.1	3,939	△2.8	3,921	△12.3	2,752	△1.3
24年3月期第1四半期	42,890	3.6	4,051	43.3	4,470	106.8	2,787	114.5

(注) 四半期包括利益 25年3月期第1四半期 1,442百万円 (△58.4%) 24年3月期第1四半期 3,469百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.54	19.51
24年3月期第1四半期	19.79	19.77

(注) 5ページ 2. サマリー情報(その他)に関する事項 (3) 会計方針の変更 に記載の通り、平成24年3月期第1四半期については、遡及的に調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	231,483	171,065	168,909	73.0	1,199.23
24年3月期	221,098	173,428	171,496	77.6	1,217.57

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	28.00	28.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	92,500	4.2	7,500	△14.7	7,700	△10.1	4,500	△12.7	31.95
通期	185,000	7.6	11,500	10.8	12,000	17.6	7,600	9.9	53.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有

(注)詳細は、5ページ 2. サマリー情報(その他)に関する事項 (3)会計方針の変更 をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	143,378,085 株	24年3月期	143,378,085 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	2,530,021 株	24年3月期	2,527,015 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	140,849,379 株	24年3月期1Q	140,847,377 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
- ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
- ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
- ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
- ・SPA(製造小売)事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
- ・カタログ及びインターネット販売の強化による売上増加が達成できないリスク
- ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
- ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
- ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
- ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
- ・海外事業に関連して増加するリスク
- ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
- ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク
- ・知的財産権に関連するリスク
- ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
- ・内部統制に関連するリスク
- ・有価証券に関連するリスク
- ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク

これらの詳細については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(6) セグメント情報	P. 10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
(8) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①当第1四半期の業績概況

当社グループでは3カ年中期経営計画の最終年度に入り、主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、国内インナーウェア市場におけるシェア拡大と構造改革による収益力向上、中国を中心とする海外事業の積極的な展開による成長力強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期の連結業績は、主にワコールや米国、中国事業において売上が伸長したことなどにより、全体の売上高は前年同期を上回りました。営業利益は、海外子会社の収益性は改善したものの、ワコールにおける戦略的な費用投下の影響などもあり、前年同期を下回りました。

なお、当年4月に子会社化した英国「Eveden Group Limited」の業績は、当第2四半期より連結決算数値に反映するため、当第1四半期には反映していません。

●売上高	433億62百万円	(前年同期比	1.1%増)
●営業利益	39億39百万円	(前年同期比	2.8%減)
●税引前四半期純利益	39億21百万円	(前年同期比	12.3%減)
●当社株主に帰属する四半期純利益	27億52百万円	(前年同期比	1.3%減)

②オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業 (国内)

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、「からだのエイジング（加齢による体形変化）」に基づいた商品展開やプロモーションが消費者に効果的に訴求できたことで、主力アイテムであるブラジャーやボトム商品が堅調に推移しました。一方、季節商品の肌着については、主力の天然素材を使用した商品は堅調に推移したものの、その他アイテムの苦戦や天候不順の影響もあり、低調に推移しました。これらの結果、ワコールブランド事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

ウイングブランド事業本部につきましては、店頭での売上は低調に推移しました。ブラジャーは一部のキャンペーン商品が苦戦し、肌着やメンズインナーは天候不順に加え量販店などのプライベートブランド商品や他社商品との競争激化の影響を受けました。このように店頭での売上は不振となったものの、「からだのエイジング」に基づいたブランド再編に伴う商品の投入や、大手得意先との協働による商品展開が進んだことなどにより、ウイングブランド事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」において、ブランド認知度向上に伴い既存店が順調に推移したことや新規出店により、売上を伸ばしました。また、アウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」も好調に推移し、小売事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X（シーダブリューエックス）」ブランドのスポーツ用タイツは、昨年度にテレビ番組で紹介されたことによる売上拡大の反動により前年同期を下回りましたが、機能性を重視したビジネスパンプスは好調に推移しました。これらの結果、ウエルネス事業部全体の売上は前年同期を上回りました。

通信販売事業部につきましては、カタログ販売が好調に推移したことや、インターネット販売も伸長したことにより、全体の売上は前年同期を上回りました。

このように、主力事業の売上が全般的に前年同期を上回ったことにより、株式会社ワコール全体の売上は前年同期を上回りました。一方、利益面につきましては、売場開発や広告宣伝活動の強化など、戦略的な費用投下の影響もあり、営業利益は前年同期を下回りました。

●売上高	295億8百万円	(前年同期比	3.3%増)
●営業利益	25億36百万円	(前年同期比	10.0%減)

b. ワコール事業(海外)

海外事業につきましては、米国事業は主力販売チャネルである百貨店を中心に、シェア向上と商品展開の強化、販売地域やチャネルの拡大に積極的に取り組みました。売上面では、前期から引き続き好調に推移している値頃感のあるブラジャーが伸長したことや、インターネット販売も好調に推移したことで、売上は前年同期を上回りました。また、利益面では売上の増加に加え、原価低減に伴う売上利益率の向上によって、営業利益は前年同期を上回りました。なお、当期における米ドルの為替換算レートは79円(前年同期81円)となっております。

中国事業につきましては、商品力の強化と店頭販売員の定着率の改善、内陸部を中心とした店舗展開の取り組みが奏功し、売上は前年同期を上回りました。利益面では販管費比率の低減などにより、営業利益は前年同期を上回りました。なお当期における中国元の為替換算レートは13円(前年同期13円)となっております。

●売上高	62億54百万円	(前年同期比	6.9%増)
●営業利益	9億16百万円	(前年同期比	26.9%増)

c. ピーチ・ジョン事業

株式会社ピーチ・ジョンにつきましては、主力の通販カタログはインナーウェアが堅調に推移したものの、アウターウェアや雑貨が苦戦し、売上は前年同期を下回りました。国内直営店は品揃えの改善により既存店が堅調に推移し、売上は前年同期を上回りました。海外直営店は中国では新規店舗を出店する一方、不採算店舗を整理したことで売上は前年同期を上回りましたが、香港の直営店は低調に推移しました。これらの結果、ピーチ・ジョン事業全体の売上は前年同期を下回りました。利益面では売上原価率の低減などによる収益改善が進んだものの、売上が減少した影響などにより、ピーチ・ジョン事業全体では営業利益は前年同期を下回りました。

●売上高	31億58百万円	(前年同期比	7.1%減)
●営業利益	1億76百万円	(前年同期比	39.1%減)

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナーウェアを展開するインナー事業部は、グループ向けの商品供給が増えたことや大手得意先への販売が堅調に推移したことで、前年同期を上回りました。一方、アウターウェアを展開するアパレル事業部において不採算商材の取扱いを終了したことが影響し、ルシアン全体の売上は前年同期を下回りました。利益面については、アパレル事業の収益性が改善したことや経費削減が奏功し、営業利益は前年同期を上回りました。

マネキンの製造販売やレンタル、商業施設の設計や施工を行う株式会社七彩につきましては、物販事業が好調に推移しましたが、取引先の投資抑制や百貨店の閉店の影響でレンタル事業が苦戦し、売上は前年同期を下回りました。利益面においても、原価低減や経費削減など効率化を図りましたが、売上が減少した影響などにより営業利益は前年同期を下回りました。

●売上高	44億42百万円	(前年同期比	12.8%減)
●営業利益	3億11百万円	(前年同期比	40.1%増)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債、株主資本等の状況において、当年4月に子会社化したEveden Group Limitedの数値を反映しております。一方、キャッシュ・フローの状況においては、当第2四半期連結累計期間より連結決算数値に反映するため、当第1四半期連結累計期間には反映しておりません。

①資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、Eveden Group Limitedの取得に伴うのれんの増加などにより、前連結会計年度末に比して103億85百万円増加し、2,314億83百万円となりました。

負債の部は、未払金の減少、夏季賞与の支払による未払賞与の減少や法人税等の支払による未払税金の減少などがあったものの、短期借入金の増加により、前連結会計年度末に比して127億48百万円増加し、604億18百万円となりました。

株主資本は、配当金の支払や未実現有価証券評価損益の変動などにより、前連結会計年度末に比して25億87百万円減少し、1,689億9百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して4.6%減少し、73.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して96億92百万円減少し、202億93百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益28億13百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、24億65百万円の収入(前年同期に比し17億71百万円の収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還収入などがあったものの、新規子会社の取得(取得した現金との純額)などにより、179億56百万円の支出(前年同期に比し175億38百万円の支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払があったものの、短期借入金の増加などにより、59億39百万円の収入(前年同期に比し69億92百万円の収入増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値につきましては、平成24年5月15日発表時の業績予想からの変更はありません。

国内事業におきましては、引き続き「からだのエイジング」を軸とした商品展開と、ボリュームゾーンの強化により、国内インナーウェア市場におけるシェアアップを図ります。また、今後も成長が期待できる小売事業やウエルネス事業、インターネット事業などについても積極的な拡大を図るとともに、子会社も含めて当社グループ全体の総合力を発揮したサプライチェーンマネジメントの再構築に取り組みます。

海外事業におきましては、米国や中国をはじめとして、商品展開をさらに強化し、事業環境の変化に対応しつつ、売上拡大と収益性の改善を進めていきます。また、当年4月に子会社化した英国「Eveden Group Limited」を活用し、欧州市場における事業基盤の強化と売上拡大を図ります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成24年4月10日に、Eveden Group Limitedの発行済株式の全株式を取得し、完全子会社といたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

(子会社の決算期変更)

前連結会計年度より、一部の連結子会社について、従来の決算日から当社の決算日である3月31日に変更しております。これに伴い、平成24年3月期第1四半期の四半期連結損益計算書、四半期連結包括損益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、販売の状況を遡及的に調整しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	29,985	20,293	△ 9,692
定期預金	733	440	△ 293
有価証券	5,179	4,942	△ 237
売掛債権	22,725	24,745	2,020
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 1,460	△ 2,070	△ 610
たな卸資産	32,847	35,909	3,062
繰延税金資産	4,234	3,859	△ 375
その他の流動資産	3,052	4,520	1,468
流動資産合計	97,295	92,638	△ 4,657
II. 有形固定資産			
土地	21,783	21,858	75
建物及び構築物	60,077	60,514	437
機械装置及び工具器具備品等	14,039	14,236	197
建設仮勘定	22	21	△ 1
	95,921	96,629	708
減価償却累計額	△ 46,843	△ 47,217	△ 374
有形固定資産合計	49,078	49,412	334
III. その他の資産			
関連会社投資	14,599	15,220	621
投資	34,064	32,451	△ 1,613
のれん	10,367	20,766	10,399
その他の無形固定資産	9,541	14,700	5,159
繰延税金資産	597	669	72
その他	5,557	5,627	70
その他の資産合計	74,725	89,433	14,708
資産合計	221,098	231,483	10,385

科 目	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	増減金額
	(平成24年3月31日)	(平成24年6月30日)	
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	5,780	18,057	12,277
買掛債務			
支払手形	1,429	1,556	127
買掛金	10,737	11,424	687
未払金	6,948	4,869	△ 2,079
	19,114	17,849	△ 1,265
未払給料及び賞与	6,411	5,088	△ 1,323
未払税金	1,747	1,122	△ 625
その他の流動負債	2,555	5,558	3,003
流動負債合計	35,607	47,674	12,067
II. 固定負債			
退職給付引当金	2,817	2,428	△ 389
繰延税金負債	7,085	7,794	709
その他の固定負債	2,161	2,522	361
固定負債合計	12,063	12,744	681
負債合計	47,670	60,418	12,748
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,447	29,457	10
III. 利益剰余金	141,370	140,178	△ 1,192
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	△ 10,916	△ 10,839	77
未実現有価証券評価損益	4,197	2,606	△ 1,591
年金債務調整勘定	△ 2,976	△ 2,864	112
V. 自己株式	△ 2,886	△ 2,889	△ 3
株主資本合計	171,496	168,909	△ 2,587
VI. 非支配持分	1,932	2,156	224
資本合計	173,428	171,065	△ 2,363
負債及び資本合計	221,098	231,483	10,385

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	42,890	100.0	43,362	100.0	472
II. 営業費用					
売上原価	19,890	46.4	19,881	45.8	△ 9
販売費及び一般管理費	18,949	44.2	19,542	45.1	593
営業費用合計	38,839	90.6	39,423	90.9	584
営業利益	4,051	9.4	3,939	9.1	△ 112
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	26		46		20
支払利息	△ 22		△ 32		△ 10
受取配当金	426		399		△ 27
有価証券・投資有価証券売却 及び交換損益	40		△ 9		△ 49
有価証券・投資有価証券評価損	△ 50		△ 64		△ 14
その他の損益(純額)	△ 1		△ 358		△ 357
その他の収益・費用合計	419	1.0	△ 18	△ 0.1	△ 437
税引前四半期純利益	4,470	10.4	3,921	9.0	△ 549
法人税等	2,034	4.7	1,749	4.0	△ 285
持分法による投資損益及び非支配 持分帰属損益調整前四半期純利益	2,436	5.7	2,172	5.0	△ 264
持分法による投資損益	395	0.9	641	1.5	246
四半期純利益	2,831	6.6	2,813	6.5	△ 18
非支配持分帰属損益	△ 44	△ 0.1	△ 61	△ 0.2	△ 17
当社株主に帰属する四半期純利益	2,787	6.5	2,752	6.3	△ 35

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	2,831		2,813		△ 18
II. その他の包括損益 －税効果調整後					
為替換算調整勘定	265		110		△ 155
未実現有価証券評価損益	297		△ 1,593		△ 1,890
年金債務調整勘定	76		112		36
その他の包括損益 合計	638		△ 1,371		△ 2,009
四半期包括損益	3,469		1,442		△ 2,027
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 51		△ 92		△ 41
当社株主に帰属する四半期包括損益	3,418		1,350		△ 2,068

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	2,831	2,813
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	1,152	1,082
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金	460	548
(3)繰延税金	1,178	519
(4)固定資産除売却損益	32	6
(5)有価証券・投資有価証券売却及び交換損益	△ 40	9
(6)有価証券・投資有価証券評価損	50	64
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 149	△ 120
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の増加	△ 1,839	△ 14
たな卸資産の減少	170	140
その他の流動資産等の増加	△ 969	△ 950
買掛債務の減少	△ 1,373	△ 1,945
退職給付引当金の減少	△ 192	△ 265
その他の負債等の増加(△減少)	△ 738	30
(9)その他	121	548
営業活動によるキャッシュ・フロー	694	2,465
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 518	△ 120
2. 定期預金の減少額	893	413
3. 有価証券の売却及び償還収入	700	281
4. 有価証券の取得	△ 780	△ 158
5. 有形固定資産の売却収入	14	15
6. 有形固定資産の取得	△ 586	△ 323
7. 無形固定資産の取得	△ 123	△ 184
8. 投資の売却収入	—	82
9. 投資の取得	△ 88	△ 1,058
10. 新規子会社の取得(取得した現金との純額)	—	△ 16,906
11. その他	70	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 418	△ 17,956
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増加額	1,824	12,063
2. 長期債務による調達	—	500
3. 長期債務の返済	△ 18	△ 2,608
4. 自己株式の取得	△ 4	△ 3
5. 自己株式の売却	0	0
6. 当社株主への配当金支払額	△ 2,817	△ 3,944
7. 非支配持分への配当金支払額	△ 45	△ 69
8. その他	7	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,053	5,939
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 70	△ 140
V. 現金及び現金同等物の減少額	△ 847	△ 9,692
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	26,316	29,985
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	25,469	20,293

補足情報

現金支払額		
利息	19	30
法人税等	2,354	2,168
現金支出を伴わない投資活動		
株式交換による投資有価証券の取得額	126	—
固定資産の取得価額	—	313

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

① オペレーティング・セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	28,552	5,848	3,398	5,092	42,890	—	42,890
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	797	1,495	48	1,238	3,578	△ 3,578	—
計	29,349	7,343	3,446	6,330	46,468	△ 3,578	42,890
営業利益	2,818	722	289	222	4,051	—	4,051

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（単位：百万円）

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	29,508	6,254	3,158	4,442	43,362	—	43,362
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	549	1,840	53	1,392	3,834	△ 3,834	—
計	30,057	8,094	3,211	5,834	47,196	△ 3,834	43,362
営業利益	2,536	916	176	311	3,939	—	3,939

(注) 1. 各事業の主な製品

- ワコール事業（国内） …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、レックニット他
- ワコール事業（海外） …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、レックニット他
- ピーチ・ジョン事業 …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、その他繊維関連商品他
- その他 …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品、マキア人形、店舗設計・施工他

2. オペレーティング・セグメント別資産関連情報

当第1四半期連結会計期間において、Eveden Group Limitedとその子会社を連結子会社化したことなどにより、その他セグメントの資産が前連結会計年度末に比して23,558百万円増加しております。その結果、その他セグメントの資産は当第1四半期連結会計期間末において44,124百万円となっております。

② 地域別情報

前第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	36,855	2,737	3,298	42,890
構成比	85.9%	6.4%	7.7%	100.0%
営業利益	3,389	179	483	4,051

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	36,902	3,052	3,408	43,362
構成比	85.1%	7.0%	7.9%	100.0%
営業利益	3,077	309	553	3,939

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア: 東アジア及び東南アジア諸国
 欧米: 北米及びヨーロッパ諸国
 3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(8) 販売の状況

製品の種類		前第1四半期 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		当第1四半期 自平成24年4月1日 至平成24年6月30日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	百万円 30,579	% 71.3	百万円 31,814	% 73.4	百万円 1,235	% 4.0
	ナイトウェア	2,488	5.8	2,647	6.1	159	6.4
	リトルインナー	480	1.1	495	1.1	15	3.1
	計	33,547	78.2	34,956	80.6	1,409	4.2
アウターウェア ・スポーツウェア等		4,221	9.9	3,749	8.7	△ 472	△ 11.2
レッグニット		511	1.2	444	1.0	△ 67	△ 13.1
その他繊維製品 及び関連製品		2,162	5.0	1,926	4.4	△ 236	△ 10.9
その他		2,449	5.7	2,287	5.3	△ 162	△ 6.6
合 計		42,890	100.0	43,362	100.0	472	1.1